



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 篤史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 2021年1月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の業績 (2020年9月1日~2020年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	4,094	△7.3	△95	-	△94	-	△73	-
2020年8月期第1四半期	4,419	△0.5	△82	-	△86	-	△72	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	△29.13	-
2020年8月期第1四半期	△29.35	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	11,276	2,237	19.1
2020年8月期	10,419	2,340	21.6

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 2,158百万円 2020年8月期 2,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2021年8月期	-	-	-	-	-
2021年8月期(予想)	-	8.50	-	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の業績予想 (2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,728	△0.0	189	△27.3	178	△28.8	75	△46.0	29.34
通期	20,382	16.0	300	197.0	276	240.7	152	-	60.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年8月期1Q	2,544,800株	2020年8月期	2,544,800株
2021年8月期1Q	9,999株	2020年8月期	14,999株
2021年8月期1Q	2,533,128株	2020年8月期1Q	2,474,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が、夏場以降に再拡大し、経済活動の停滞・外出自粛が強まり、依然厳しい状況が続いております。とりわけ小売業界におきましては、政府のGoToキャンペーン等の各種経済刺激策により、一時は回復の兆しが見られたものの、同感染症の再拡大により再び個人消費が落ち込み、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は、お客様及び従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、今後の中長期的な成長へ向けて、粗利率の向上、宝飾品・プライベートブランドの販売強化、店舗の販売体制の支援強化、デジタル・IT投資による業務効率の改善、販売員の育成並びにEC（ネット通販）やライブ販売等の非接触型販売の拡大に取り組んでおります。

店舗展開といたしましては、当第1四半期累計期間中の出退店はなかったことから、11月末現在の店舗数は85店舗となっておりますが、12月上旬に北海道北斗市へ上磯店を新規出店いたしております。また、既存店舗の活性化として、9月に名古屋茶屋店、10月に岡崎店・京都桂川店を同施設内においての移転リニューアル改装いたしました。

営業施策につきましては、非接触型販売の試みとして、インターネットを通じたライブ販売を実施するとともに、一部店舗にAIカメラを導入し、顧客の購買動向の分析等に着手いたしました。また、対策強化店舗のレイアウト変更を実施し回遊性の改善を図るとともに、30周年記念セール、クーポンを活用した販促強化、ブラックフライデーセール等の販促企画を実施いたしました。

オリジナルブランドにつきましては、定番商品・人気商品を中心に重点販売商品の販促を強化し、ブランド知名度の向上に努めました。

ECにつきましては、中長期的な自社EC販売の強化を図るべく、自社サイトの改善や運営体制の見直しに着手しております。

商品部門別の売上の状況は以下のとおりです。

- ・宝飾品は、オリジナルブランド商品を中心に重点販売商品の販促を強化するとともに、好調なゴールド関連商品の展開も強化したことにより、売上高 795,205千円（前年同期比 5.9%増）となりました。
- ・時計は、国産主力ブランドの展開を強化したほか、海外ブランド時計について重点ブランドを絞った販促企画を強化したものの、高額品の落ち込みにより、売上高 1,115,319千円（同 13.7%減）となりました。
- ・バッグ・小物は、人気ブランドの新規導入や30周年記念セール等の販促企画を実施し、人気小物商品等の販売強化に取り組んだものの、一部の主力高額ブランドの販売が落ち込んだことで、売上高 2,184,185千円（同 8.0%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、コロナ禍における消費意欲減退の環境下にありましたが、販促企画や人気商品の品揃え強化等の施策により、売上高は4,094,710千円となり、消費増税前の駆け込み需要が含まれる前年同期売上高4,419,091千円に対して7.3%減に留めることができました。営業損益は、上記の売上減の影響を受けましたが、商品政策により粗利率が前年同期に比べて0.1ポイント改善し、販売費及び一般管理費の削減にも務めたことで、営業損失95,397千円となり、前年同期営業損失82,195千円に対して13,201千円の損失増に抑えることができました。同様に、経常損益は、経常損失94,494千円となり、前年同期経常損失86,287千円に対して8,207千円の損失増に抑えることができ、四半期純損益は、四半期純損失73,800千円となりましたが、前年同期四半期純損失72,640千円に対して1,159千円の損失増に留めることができました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、9,443,345千円となり、前事業年度末と比較して792,042千円増加しております。これは主として、現金及び預金が697,149千円減少したものの、年末年始商戦に向けた商品確保により商品が1,253,132千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,833,267千円となり、前事業年度末と比較して64,904千円増加しております。これは主として、建物が21,420千円増加、敷金及び保証金が6,758千円増加、投資その他の資産のその他が39,570千円増加したことが要因であります。

（流動負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,779,657千円となり、前事業年度末と比較して1,246,740千円増加しております。これは主として、支払手形及び買掛金が895,871千円増加、電子記録債務が394,226千円増加したことが要因であります。

（固定負債）

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、4,259,862千円となり、前事業年度末と比較して286,023千円減少しております。これは主として、長期借入金が276,691千円減少したことが要因であります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、2,237,093千円となり、前事業年度末と比較して103,770千円減少しております。これは主として、利益剰余金が111,747千円減少したことが要因であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月13日に公表いたしました2021年8月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,275,349	2,578,200
売掛金	879,232	945,640
商品	4,326,418	5,579,551
貯蔵品	93,915	90,068
その他	76,387	249,885
流動資産合計	8,651,303	9,443,345
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	572,278	593,699
構築物(純額)	7	6
工具、器具及び備品(純額)	194,232	190,071
建設仮勘定	17,776	19,150
有形固定資産合計	784,295	802,927
無形固定資産		
ソフトウェア	14,333	14,277
無形固定資産合計	14,333	14,277
投資その他の資産		
敷金及び保証金	647,697	654,455
その他	322,036	361,606
投資その他の資産合計	969,734	1,016,062
固定資産合計	1,768,363	1,833,267
資産合計	10,419,666	11,276,613

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	861,959	1,757,830
電子記録債務	13,093	407,319
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,851,359	1,758,198
未払法人税等	53,936	15,936
賞与引当金	63,000	108,654
ポイント引当金	3,478	3,448
店舗閉鎖損失引当金	20,643	20,643
資産除去債務	10,880	10,883
その他	654,566	496,743
流動負債合計	3,532,916	4,779,657
固定負債		
長期借入金	3,996,801	3,720,110
資産除去債務	211,013	214,474
長期未払金	338,071	325,278
固定負債合計	4,545,885	4,259,862
負債合計	8,078,802	9,039,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,597	331,597
資本剰余金	311,433	312,613
利益剰余金	1,640,475	1,528,728
自己株式	△12,533	△8,217
株主資本合計	2,270,972	2,164,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,132	△6,083
評価・換算差額等合計	△12,132	△6,083
新株予約権	82,023	78,455
純資産合計	2,340,863	2,237,093
負債純資産合計	10,419,666	11,276,613

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	4,419,091	4,094,710
売上原価	3,388,908	3,132,362
売上総利益	1,030,182	962,348
販売費及び一般管理費	1,112,378	1,057,745
営業損失(△)	△82,195	△95,397
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	580	638
受取保険金	823	164
助成金収入	—	6,000
その他	1,020	689
営業外収益合計	2,429	7,497
営業外費用		
支払利息	6,474	6,552
その他	46	42
営業外費用合計	6,521	6,595
経常損失(△)	△86,287	△94,494
特別損失		
固定資産廃棄損	—	4,025
特別損失合計	—	4,025
税引前四半期純損失(△)	△86,287	△98,520
法人税、住民税及び事業税	6,289	5,898
法人税等調整額	△19,936	△30,618
法人税等合計	△13,646	△24,719
四半期純損失(△)	△72,640	△73,800

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。